

【収入保険】私の選択・加入者の声



「従業員のために必要」

【高知県四万十市 山本 泰司さん（50）】

栽培規模＝ラッキョウ250アール、ナバナ900アール

農業を始めたころ、ハウスでセンリョウ栽培を始めたときには、相次ぐ台風でハウスが被害を受け、一度も収穫をしないでやめたことがあります。3年ほど前には、試験的にラッキョウの肥料を変えたところ、生育が悪く売り上げが予想の3分の1まで落ち込んだこともありました。こういった**失敗や災害のダメージを軽減してくれる**のが収入保険だと思います。

高知県は災害の多い県でもありますし、私の栽培しているラッキョウ、ナバナは海岸近くの農地ですから津波が起きれば全滅する心配もあります。現在は多くの従業員に働いてもらっているのです、その方たちの**給与の支払いを考えると収入保険は必要**だと考えています。長男も数年前から独立して農業を始めているので、収入保険への加入を勧めたいと考えています。

（農業共済新聞 [四国版] 2019年9月4週号より抜すい）